

## 令和 6 年度成果報告 建設環境課総括

### 1. 建設関係

道路関係として、国道 19 号は今年度も、6 月 28 日の大雨による雨量規制（全面通行止め）が実施され、補完道路となるべき中津川田立線が迂回車両で大渋滞となる等、地域住民の生活に影響を及ぼした。今後も、危険箇所対策をはじめ、老朽化した施設の保全、交通安全施設の整備など多くの課題が残されている。

今シーズンは大雪の影響により除雪費用が昨年の 400% と大幅な増額となったが、令和 5 年度からの区長判断から除雪業者判断による出勤へ大幅な見直しが行われた成果から作業への連絡体制については円滑であったが、委託業者が所有する除雪機械が故障するトラブルもあり住民生活に支障をきたす状況となってしまった。今年度、町により融雪剤散布機を購入し、従来からの業者委託による散布と合わせて早朝予防・凍結防止対策を行うことができた。除雪作業については、除雪機械の老朽化による管理問題、オペレーターの確保が急務となっている。

今年度も自然災害に対する対応は例年に比べると少ない状況ではあったが、6 月 28 日の大雨では町内 15 か所で被災を受けたが、補助金による災害復旧工事に該当する被災はなかった。過年災害として復旧工事が進められていた「中山道（下り谷）道路災害復旧工事」も完了した。

道路改良・河川整備事業については、令和 5 年度から債務負担工事による「前沢橋補修工事」、令和 6 年度繰越事業の「妻籠町中線」舗装美装化工事、与川線道路改良工事、令和 6 年度事業として「正兼線改良工事詳細設計」、舗装工事として「川向戸場線」、河川整備では「与の洞（妻籠）」の河畔林整備、「下の沢（田立）」改修の設計測量を実施した。今後も町事業の推進、国・県関連事業の推進についても引き続き要望を行う。

また、リニア中央新幹線計画に伴う関連工事として、町事業として「富貴畑事業」活用が計画され動き出した。

### 2. 住宅関係

町が管理する住宅として、公営住宅 66 戸、特定公共賃貸住宅 16 戸、地域優良賃貸住宅 6 戸、町営単独住宅 21 戸、ユーアイ住宅 46 戸、また教員住宅 30 戸があるが、昭和 50 年代（40 年代のもの）に建築物が大半を占め、老朽化に伴う維持補修や住宅環境の向上に対して入居者からの要望に対応した修繕も増加している。退去に合わせた改修による空き家対策、老朽化住宅の除却についても計画的に進めている。

また、住宅リフォーム補助については上乗せ分 1 件も含め計 7 件の実績となった。一般の木造住宅等については、ここ数年除却に伴う届出が増えている状況でもあ

り、耐震改修に係る診断も毎年1件程度実施されている。改修及び除却に対する補助金も予算化しているが、申請はない状況である。長野県による上乗せ補助の活用など、補助金の増額についても検討が必要である。

### 3. 宅造関係

平成29年度造成し平成30年度より分譲を開始した天白住宅団地3区画について引き続き1区画の分譲募集している。

町への定住を促進するための宅地造成事業として進めている田立元組第2団地については、造成工事を発注したが、宅地内への進入路、区画の見直しなどにより工事を令和7年度へ繰り越した。上下水道管布設工事については実施設計を行った。

### 4. 環境衛生関係

ごみ処理関係では、可燃ごみが前年度より17.7tの減少、生ごみが前年度より8.0tの減少、不燃ごみが3.3tの減少となった。また、資源ごみの回収は7.1tの減少となった。

南木曾町資源ごみストックヤード（川向）において資源ごみの回収を週2回実施していますが、今年度より小型家電の無料回収を開始した。

町全体の衛生教育も普及と実践活動を総合的に推進するために組織された「南木曾町衛生自治会」について、一定の役割を終えたものとし、令和6年度で解散となった。今後は町がその活動を引継ぎ進めていく。

墓地の廃止・改葬許可件数が11件と増えており、町営霊園でも返還（蘭霊園3区画・神戸霊園0区画）も行われることから今後の管理運営について組合との調整が課題となっている。

簡易給水施設改修補助として、地区水道2組合へ補助金（事業費の90%）の交付により、町簡易水道の未普及地域への支援を今後も行っていく

合併浄化槽設置補助として2基の設置補助金を交付した。

### 5. 公営企業会計

地方公営企業法の適用により公営会計に移行し、複式簿記により会計処理を行った。

#### ○南木曾町簡易水道事業会計

- ・浄水場・配水池における建設改良工事等、施設維持管理工事として原水施設2機器、浄水施設4機器、配水施設3機器の修繕工事等を実施し、健全な施設管理業務に努めた。
- ・毎月の定期項目検査、年1回の全項目・原水全項目検査、クリプト検査など、また、有機フッ素化合物（P F A S）についても検査を行い、適正な水質管理に努めた。

- ・建設改良事業として5施設の機器（計器）更新工事を行った。
- ・妻籠上在郷地区において、小規模水道事業から町簡易水道施設への整備に伴う配水管布設工事【第1工区】、実施設計業務【第2工区】を実施した。
- ・量水器の定期交換工事として、783戸を3工区に分けた実施した。
- ・リニア中央新幹線工事に伴う水道水源対策となる予備的措置について令和5年度に発注した第10-1工区（取水・管路）・10-2（管路）工事が完了。今年度は管路工事として第9-1工区・9-2・9-3、また仮設浄水場施設工事として第10-3工区の発注（R7への繰越事業）を行い、万が一のリニア工事影響による飲料水の確保に向けた事業を進めている。

#### ○南木曾町特定環境保全公共下水道事業会計

- ・新規公共マスの設置はなかった。
- ・民間業者等への委託による施設管理・水質管理など、適正な管理に努めた。
- ・奥谷マンホールポンプ場のポンプ及び配電盤更新工事を実施した。
- ・マンホールカード発行への参画により2,249枚（前年比526枚の増）の配布を行った。

#### ○南木曾町農業集落排水事業会計

- ・新規接続はなかった。
- ・民間業者等への委託による施設管理・水質管理など、適正な管理に努めた。
- ・上段、鹿の島マンホールポンプ場通報装置改修工事などの修繕を実施した。
- ・更新工事は実施しなかった。

#### ○南木曾町浄化槽市町村整備推進事業会計

- ・浄化槽市町村整備推進事業により浄化槽13基を整備した。（町整備分576基）
- ・寄付による町管理型への移管は4基。（管理分262基）
- ・民間業者への委託により保守点検を3ヶ月に1回実施し、浄化槽の状況により汲み取り・清掃を行い適正な管理に努めた。

#### 【評価】

- ・木曾川右岸道路事業として、県代行による高瀬橋の下部工事（右岸：橋台、左岸：作業ヤード）、柿其工区、読書ダム～戸場工区（1号トンネル、工事用道路）が事業着手されたが、未整備区間の事業化に向けた関係機関への要望も必要である。また、川向地区から田立地区県境部のルート確定に向けての住民との意見交換会を開催し、「ルート帯案選定」・「対応方針決定」にむけた検討を進めることにより、ルート案の比較によるルート選定が必要である。

- ・国道 19 号の雨量規制区間（吾妻橋から岐阜県坂下までの 6.5 k m）については、長野県側が緩和されたため、岐阜県側の緩和（経験雨量）及び、抜本的な解消に向けた道路改良調査など、関係機関への要望の継続が必要である。
- ・国土強靱化事業は 5 箇年（令和 3 年度～令和 7 年度）緊急対策として、町道天白川向線防災工事について令和 5 年度繰越事業にて詳細設計を実施し、令和 6 年度においては地質調査を追加し、令和 7 年度工事実施に向けた準備を完了することができた。
- ・リニア中央新幹線事業に伴う尾越工区のトンネル掘削工事に引き続き、広瀬工区も掘削が開始された。発生土については町内での置場として建設環境課関連では、右岸道路における高瀬橋左岸作業ヤード、田立元組第 2 団地造成工事への活用、今後は富貴畑事業への活用も計画中であり、J R 東海と連携し町内における活用も含めた発生土置場の確保に努めていく必要がある。水道水源の予備的措置について関係課とともに JR と協議により、第一段階として妻籠配水池へ大山・蘭簡易水道からの給水工事は完了したが、影響が懸念される簡易水道の 2 水源（向ヶ原・大山高区）代替水源となる床浪本谷からの取水・配水について、仮設浄水場および、既存の排水管までの管路（仮設）の工事を発注し、住民への影響を解消する対応を進めている。
- ・新規住宅の建設は行えなかったが、単身向け住宅を中心としたユニーアイ住宅建設の検討、既存住宅の改修等による町外からの町内就業者への対応を引き続き行う。
- ・宅地造成事業は、天白住宅団地 1 区画の募集を引き続き行うとともに、田立元組第 2 団地の造成工事に着手した。進入路、社協倉庫などの関係から設計変更などを行い令和 7 年度への繰越事業となったが、販売価格の検討を行うなど、若者の定住促進を図る事業としたい。また、今後も他地域における宅地造成事業等の検討も行いながら造成事業について推進を図りたい。
- ・ごみの減量化及び再資源化に向けた具体的な目標を掲げるなど、令和 5 年に改定した「南木曾町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、役場における事業から推進を行う。
- ・小規模水道について一部施設統合が実施できたが、今後も各水道組合の現状をよく把握しながら将来の施設維持管理の在り方について協議・検討する必要がある。
- ・公営企業会計 4 会計（簡易水道・特環下水道・農業集落排水事業・浄化槽市町村整備事業）について、適正な会計管理に努めながら財務・事業内容の健全化を常に意識した事業運営、また料金改定の検討も行う必要がある。

## 8 建設環境課所管

### 1. 建設関係

#### (1) 道路関係

##### ①町 道

町道については、実施計画に基づき道路改良等の事業を実施したほか、道路メンテナンス事業補助を活用し橋梁点検・補修を実施した。

道路維持補修については、各地域からの要望を中心に緊急性の高いものから順次実施し、可能な限り対応している状況である。

令和3～7年度の5年間の地域再生計画「歴史とひのきの薫る里づくり計画」(道整備交付金)を、町道川向柳野線「高瀬橋架替(県代行事業)」の進捗により令和9年度までと見直しを行った。

道路維持補修事業	20,142 千円	(台帳整備含む)
道路舗装事業	16,354 千円	
道路改良事業	11,907 千円	
国土強靱化事業	6,566 千円	
除雪対策事業	80,638 千円	
県営工事付帯事業	564 千円	
橋梁維持補修事業	37,670 千円	
河川整備事業	9,812 千円	
6 事業費計	183,653 千円	(明細別紙参照)
6 災害復旧費	8,116 千円	(明細別紙参照)
5 年度繰越事業	295,392 千円	(明細別紙参照)

##### 現年度事業

- ・道路維持補修工事 60 箇所を行った。
- ・道路新設改良では、正兼線の詳細設計を実施した。
- ・舗装工事では、川向戸場線 L=296m (北部分館前)の舗装補修工事を実施した。
- ・橋梁維持修繕工事では、債務負担行為により前沢橋(田立)の補修工事を実施した。
- ・橋梁長寿命化計画に従い 38 橋の定期点検を実施した。PCB 塗膜調査を実施した。
- ・国土強靱化事業では天白川向線防災工事に伴う地質調査を実施した。
- ・河川整備では与の洞(妻籠)の河畔林整備、下の沢(田立元組)河川改修の測量設計、用地取得を行った。
- ・除雪対策事業の除雪費用は昨年比 400%へと増額となった。融雪剤購入も 600 袋から 900 袋となり、融雪剤散布による凍結防止など円滑な住民対応ができた。
- ・6 月 28 日の大雨では 15 箇所(道路 13 箇所、河川 2 箇所)の被災を受けた。

##### 繰越事業

- ・妻籠町中線第 3 工区(第 3 駐車場寄り)の舗装美装化工事を実施した。
- ・与川線(与川 1 区)道路改良工事を実施した。
- ・坂の下線道路改良(国道 19 号交差点)の予備設計を実施した。
- ・蘭線道路改良工事(国道 256 号交差点)を実施した。
- ・前沢橋(田立)橋梁補修工事を債務負担行為により現年度予算と合わせて実施した。
- ・町道中山道(下り谷)災害復旧工事とそれに係る家屋事前調査を実施した。

## ②国 道

### 【国道 19 号】

令和 5 年 5 月 31 日より、事前通行規制の雨量基準（吾妻橋交差点から弥栄橋交差点 連続雨量 150 mm）が一部緩和された。吾妻橋交差点から田立入口交差点 連続雨量 210 mm

◎ 6 月 28 日の大雨 田立入口～弥栄橋交差点規制(16 : 00～21 : 00) 連続雨量 191 mm

### 【一般国道 256 号】

道路改良（漆畑拡幅）等が実施された。

## ③県 道

### 【主要地方道 中津川南木曽線（馬籠峠～下り谷拡幅）】

拡幅工事に伴う仮設橋が発注、実施された。

### 【主要地方道 中津川田立線】

田立大橋が完成し供用開始された。（令和 7 年 3 月 9 日 「田立大橋」開通記念式典）

### 【一般県道 上松南木曽線（読書ダム～戸場）】

十二兼地区工事用道路が発注、実施された。1 号トンネルが発注された。それに伴う工事用道路（準備工）工事が実施された。

柿其川仮設橋が発注、実施された。

### 【県代行 木曽川右岸道路（町道川向柳野線）】

新高瀬橋下部工事が発注、実施された。（右岸橋台・左岸ヤード）

### 【木曽川右岸道路（川向～田立）】

県境部整備に係る意見交換会（右岸道路づくり委員会）3 回、地元住民意見交換会 1 回が開催され、「ルート帯案選定」・「対応方針決定」に向けた計画検討が進められている。

## （2）砂防・河川・災害関係

### ①町単河川改修事業

#### 【準用河川改修】

○地元より要望があった下の沢（田立元組）改修工事に係る測量設計、用地取得と実施した。（工事は令和 7 年度）

○県単河畔林整備事業を与の洞（妻籠地区）の支障木伐採を実施（R 5～7 計画）した。河川内と民地を一体的に整備し、倒木による栓塞の危険箇所を解消した。

6 年度事業費 9,812 千円 （明細別紙参照）

### ②直轄砂防事業

#### 【砂防事業】……………本体工事

事業概要 和合蛇抜沢沈砂地工、桂川第 1 砂防堰堤取付道路工、  
戦沢第 2 砂防堰堤取付道路工、小梨子沢第 4 砂防堰堤流路工、  
地藏沢第 1 砂防堰堤取付道路工

#### 【砂防調査】……………地質調査・測量・詳細設計ほか

事業概要 与川第 1・神戸第 1、米山沢（妻籠）、砂地沢（妻籠）

### ③県砂防・河川事業

【緊急浚渫事業】……木曽川の除石・支障木伐採が実施された。(南木曽中学校横)

大沢田沢(住吉地区)の河床整備が実施された(役場横)

【木曽川治水対策】…未策定となっていた木曽川河川整備計画が策定により、既存ダムを活用した事前放流や流域治水への取り組みなどについて、木曽郡町村会を通じて長野県建設部、国交省水管理保全局、中部地方整備局、木曽川上流事務所等へ要望を実施した。沼田地区における機能向上工事(護岸補強)が実施された。

◎沼田地区において、防災・安全交付金施設機能向上(加速化)工事(沼田1工区・2工区)が実施された。

### (3) 負担金関係等

期成同盟会、団体に対して負担金を支出し、事業促進のため要望活動を行った。

(明細別紙参照)

#### 【国道 256 号改良促進期成同盟会】

飯田市・阿智村・南木曽町の3市町村で構成し、要望活動を行った。(事務局：南木曽町)

- ・令和6年10月2～3日 関東地方整備局、国土交通省、財務省、地元国会議員へ要望活動
- ・令和6年12月19日 長野県へ要望活動

#### 【中津川南木曽県際道路改良促進協議会】

中津川市・南木曽町2市町で構成し、要望活動等を行った。(事務局：南木曽町)

- ・令和6年9月5日 長野県へ要望活動
- ・令和6年11月13日 国土交通省、財務省、地元国会議員へ要望活動(国道19号整備促進に関する要望活動)
- ・令和6年12月25日 岐阜県へ要望活動

#### 【木曽南部木曽川右岸道路整備促進期成同盟会】

上松町・南木曽町・大桑村の3町村で構成し、要望活動等を行った。(事務局：南木曽町)

- ・令和6年9月5日 長野県へ要望活動
- ・令和6年10月2日 関東地方整備局へ要望活動
- ・令和6年10月3日 国土交通省、財務省、地元国会議員へ要望活動

#### 【木曽南部直轄砂防推進協議会】

上松町・南木曽町・大桑村の3町村で構成し、要望活動等を行った。(事務局：上松町)

- ・令和6年9月30日 多治見砂防国道事務所、中部地方整備局へ要望活動
- ・令和6年11月25日・26日 国土交通省、財務省、地元国会議員、全国治水砂防協会、砂防地滑り技術センターへ要望活動

#### 【主要地方道飯田南木曽線改良促進期成同盟会】

飯田市、南木曽町で同盟会を結成し、要望活動等を行った。(事務局：飯田市)

- ・令和6年12月19日 長野県へ要望活動

(4) 町道台帳整備

	7年3月末	6年3月末	増減
道 路 実 延 長 ( m )	164,821	164,840	△19
改 良 済 延 長 ( m )	99,768	99,747	21
舗 装 済 延 長 ( m )	119,311	119,311	0
自動車通行不能道延長 ( m )	39,273	39,273	0
橋 梁 数 (箇所)	210	207	3
うち永久橋 (箇所)	164	164	0

(5) 諸申請手続き

① 河川法申請関係	17 件
② 町道自営工事申請	1 件
③ 町道使用申請	94 件
④ 砂防法申請関係 (意見書)	1 件
⑤ 急傾斜地法申請関係	0 件
⑥ 国道・県道通行制限通知	60 件

(6) リニア関連工事

○広瀬工区における発生土の活用として、富貴畑地区における町道改良及び水道施設用地造成に向けた詳細設計及び用地交渉が開始。



# 令和6年度建設関係主要事業

## 道路維持補修事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
町道補修	町内一円	町道補修60箇所	12,398					12,398	
町道補修（地元施工含む）	町内一円	原材料（舗装補修材等）	451					451	
環境整備委託	富貴畑線	町道整備	99					99	
調査委託業務	吾妻 読書	富貴畑境界復元 待避所用地測量	250					250	
土木小規模補修	町内一円	ポットホール	3,965					3,965	
道路愛護作業補助金	町内一円 48地区	道路愛護作業	1,065					1,065	
その他		消耗品費 土地賃借料	50					50	
合計			18,278					18,278	

道路橋梁一般事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
道路台帳整備事業	町内一円	道路台帳補正、	1,815					1,815	
看板購入費		通行注意看板等	49					49	
合計			1,864					1,864	

道路舗装装事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
川向戸場線舗装改良	戸場	工事L=296m	14,025			14,000		25	過疎
		設計監理	511			500		11	
		FWD調査	748			700		48	
中山道舗装修繕	渡島	前金	1,070					1,070	
合計			16,354			15,200		1,154	

## 補助道路新設改良事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
正兼線道路改良	田立 大野正兼	詳細設計	7,150	3,801		3,300		49	辺地 社資
		設計監理	69			69		0	
		用地取得	408			400		8	
		立木補償	766			731		35	
妻籠町上連絡線開設	妻籠	資料作成	50					50	
県単道路改築事業	蘭	県負担金	2,900			2,800		100	過疎
合 計			11,343	3,801		7,300		242	

## 道路新設改良

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
大原線概略設計	三留野	概略設計	495					495	
妻籠町上連絡線開設	妻籠	用地取得	23					23	
		立木補償	12					12	
合 計			530					530	

県営付帯事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
黒土運搬業務	田立	土砂運搬	484					484	
環境整備委託	三留野	右岸道路整備	80					80	
合 計			564					564	

国土強靱化事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
天白川向線防災	天白	資材価格調査	242					242	
		地質調査	6,248	3,450		2,800		74	
		設計監理	76						
合 計			6,566	3,450		2,800		316	

除雪対策事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
融雪剤・砂配布業務	町内一円	各地区指定箇所へ配布	1,144					1,144	
凍結防止剤等購入代	町内一円 200箇所	塩化カルシウム 25kg 900袋	1,597					1,597	
凍結防止剤散布機購入費			2,459					2,459	
融雪剤散布業務	町内		2,500					2,500	
町道雪害支障木伐採など	町内一円 5箇所	支障木伐採	1,285					1,285	
町道除雪業務重機使用料 (年間管理料)	町内一円 159路線	町内業者10社他委託 重機使用料	71,463	2,022				69,441	社会資本整備 交付金
地区除雪作業委託料	与川 橋場 本谷		190					190	
合計			80,638	2,022				78,616	

※路線数は、委託契約業者ごとの契約路線数の合計数。(1路線で雪寒路線、通常路線ある場合は2路線として計上、同一路線を複数事業者契約の場合も2路線で計上。)

リニア中央新幹線関連事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
設計照査等業務委託	広瀬	照査	2,000				2,000		
合計			2,000				2,000		

## 河川整備事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
与の洞河畔林整備工事	妻籠	河畔林伐採	2,002		1,800			202	県単河畔林整備補助金
		設計監理	80					80	
下の沢河川整備	田立	測量設計	5,060			5,060			財政融資資金
		設計監理	49					49	
		用地取得	66					66	
維持修繕	一円	万蔵沢、田代沢 牧原沢 整備	2,555					2,555	
合計			9,812		1,800	5,060		3,012	

橋梁維持経費

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
橋梁点検業務	町内38橋	定期点検	13,596	8,599		5,510		9	道路メンテ 過疎ソフト
		設計監理	522						
一斉塗膜調査	町内7橋	調査	7,766			7,800		44	過疎ハード
		設計監理	78						
橋梁補修事業	前沢橋	工事	11,726	4,755		6,970		1	道路メンテ 過疎ハード
	あみだ橋 島の橋	河川測量	946					946	
		資料作成	990					990	
	わらび沢橋	比較検討	2,046					2,046	
合計			37,670	13,354		20,280		4,036	

道路災害復旧事業（現年災害 町単）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
道路災害復旧事業（6月28日 豪雨）									
道路災害復旧修繕工事	三留野4箇所 吾妻5箇所 田立3箇所	法面修繕 路肩修繕 倒木処理 排水復旧	4,860					4,860	
合 計			4,860					4,860	

河川災害復旧事業（現年災害 町単）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
道路災害復旧事業（6月28日 豪雨）									
道路災害復旧修繕工事	神戸沢 石小沢	河道補修 倒木処理	3,256					3,256	
合 計			3,256					3,256	



## 補助道路新設改良事業（令和5年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
妻籠町中線美装化 (令和4年度事故繰越)	妻籠	工事	58,674	27,428		31,242		4	過疎
		設計監理	2,358			2,358			
与川線道路改良	与川	工事	29,986	15,650		14,300		36	辺地道整備
		設計監理	1,772			1,770		2	
		物件補償 支障移転	2,035			2,030		5	
合計			94,825	43,970		50,700		155	

## 道路新設改良事業（令和5年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
坂の下線道路改良	三留野	予備設計	3,850			3,500		350	過疎
		設計監理	37					37	
蘭線道路改良	蘭	工事	18,922	7,619		11,300		3	過疎 社資
		設計監理	1,040			1,000		40	
合計			23,849	7,619		15,800		430	

橋梁維持補修事業（令和5年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
橋梁補修事業	前沢橋	工事	18,997	8,711		10,200		86	道路メンテ 過疎ハード 債務負担
		設計監理	1,118			800		318	
合計			20,115	8,711		11,000		404	

道路災害復旧事業（過年災害 国庫）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
中山道道路災害復旧	妻籠	工事	144,848	114,574		30,200		74	災害復旧事業債
		設計監理	4,000			11,700		55	単独分 災害復旧事業債
		近隣家屋事前調査	2,310						
中山道道路災害復旧	妻籠	工事	5,445						
合計			156,603	114,574		41,900		129	

令和6年度負担金関係

同盟会及び協会事業負担金等（土木総務費）

単位：円

負担金名称	金額	事業主体
256号改良促進 期成同盟会負担金	100,000	同盟会（事務局 南木曾町）
木曾南部直轄砂防 推進協議会負担金	284,300	推進協議会（事務局 上松町）
県河川協会負担金	72,000	河川協会（事務局 県河川課）
全国治水砂防協会負担金	20,000	全国治水砂防協会・長野県治水砂防協会 （事務局 県砂防課）
県道路整備期成 同盟会負担金	254,500	同盟会（事務局 県道路管理課）
中津川南木曾県際道路 改良促進協議会負担金	0	同盟会（事務局 南木曾町）
飯田南木曾線改良促進 期成同盟会負担金	20,000	同盟会（事務局 飯田市）
中津川田立線改良 促進期成同盟会補助金	40,000	地元同盟会
長野県地区用地対策 連絡協議会負担金	500	県建設政策課
木曾南部木曾川右岸道路 整備促進期成同盟会	50,000	同盟会（事務局 南木曾町）
木曾地域交通網対策協議会	0	木曾広域連合
長野県南部国道連絡協議会	0	南信州広域連合
合 計	841,300	

## 2. 住 宅 関 係

### (1) 町営住宅関係

#### ①町営住宅管理状況

＊ 住宅及び入居者の状況

R7.3.31 現在

	管理 戸数	年度当初 入居戸数	年度中 入居戸数	年度中 退去戸数	年度末 入居戸数	年度末 空家戸数	除却予定 空家戸数
公営住宅	66	54	0	1	53	5	8
特定公共賃貸住宅	16	14	2	1	15	1	0
地域優良賃貸住宅	6	6	0	0	6	0	0
町営単独住宅	21	20	2	2	20	0	1
ユーアイ住宅	46	45	5	10	40	6	0
合 計	155	139	9	14	134	12	9

#### ◎教育委員会管理

教職員住宅	30	21	0	7	14	16	0
-------	----	----	---	---	----	----	---

＊ 家賃徴収の状況

		家賃調定額	家賃徴収済額	不納 欠損額	未徴収額	家賃 徴収率
使用料	(公営住宅・特賃 住宅・地優賃住宅)	19,564,600円	19,527,800円	0円	36,800円	99.81%
	(全住宅駐車場)	400,500円	397,500円	0円	3,000円	99.25%
財産収入	(教員住宅)	4,167,800円	4,167,800円	0円	0円	100.00%
	(ユーアイ住宅)	20,163,500円	19,810,600円	0円	352,900円	98.25%
	(町営単独住宅)	5,148,500円	4,948,100円	0円	200,400円	96.11%
過年度収入		1,650,562円	322,700円	0円	1,327,862円	19.55%
計		51,095,462円	49,174,500円	0円	1,920,962円	96.24%

#### ※家賃徴収

滞納対策については、家賃だけでなく町税等の滞納も絡んでいるケースが多く他係と連携して取り組んでいる。滞納者とは積極的に折衝し実情の把握に努め、計画的に支払えるように対策を進めている。

#### ※住宅維持補修

令和6年度末において、環境住宅係で管理している住宅は155戸となっている。その内約80%が築20年を経過しており、老朽化に伴う維持補修や住宅環境の向上に対して入居者の要望が高まっている。これらに対応するため軽微な補修も含め40件4,247千円の維持補修を実施した。

教育委員会で管理している教職員住宅については7件692千円の維持補修を実施した。

最近では、住宅周辺の支障木対応への要望も増えている。

### ②住宅改善の状況

#### ・町営住宅改善事業

ユーアイ住宅神戸団地外壁塗装工事

ユーアイ住宅神戸団地2棟4戸 (別紙詳細)

公営住宅上仲団地外壁塗装工事

公営住宅上仲団地2棟2戸 (別紙詳細)

## (2) 一般住宅関係

### ①住宅資金貸付業務

平成 23 年度から南木曾町への定住の推進を図ることを目的として、南木曾町定住促進住宅資金の貸付を始め、4 件分に当たる 2,000 千円を金融機関に預託した。本年度は貸付の実績がなかった。

### ②諸申請手続き

・ 建築工事関係	建築工事届（床面積 10 ㎡以上）	8 件
	建築確認申請書（建築基準法第 6 条第 1 項に該当する建物）	0 件
	建築物除却届（床面積 10 ㎡以上）	11 件

### ③木造住宅耐震補強等補助事業

昭和 56 年 5 月 31 日以前に建築工事を着工した、木造在来工法の一戸建て住宅が対象

・ 耐震診断（国・県・町で診断料を負担）	1 件
・ 耐震改修・補強工事（工事費の 4/5 以内で上限 100 万円を補助）	0 件
・ 除却（工事費の 1/2 以内で上限 838 千円を補助）	0 件

### ④住宅リフォーム補助事業

住宅関連産業を中心とした町内経済の活性化を図り町民が快適な生活を営むことができるよう、持ち家住宅のリフォーム工事に対して補助を行った。

※30 万円以上の工事に対して、補助対象工事費の 10%、限度額 20 万円。

補助金の 30%相当額を南木曾町商品券で交付

・ 令和 6 年度分	申請件数	7 件（内上乗せ 1 件）
	総事業費	29,832 千円
	補助対象工事費	14,000 千円
	補助金額	1,450 千円
	内商品券額	470 千円

別紙（事業実績）

（令和6年度実施事業）

（単位：千円）

事業名	実施箇所	事業量	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
町営住宅改善事業 （U I 住宅）	読書 U I 住宅 神戸団地	2棟4戸	外壁塗装工事	5,489					5,489	
〃 （公営住宅）	読書 公営住宅 上仲団地	2棟2戸	外壁塗装工事	2,409					2,409	

### 3. 環 境 関 係

#### (1) ごみ処理関係

##### ①可燃ごみ

令和6年度の可燃ごみ（町収集分）排出量は393.7tで、前年度より17.7tの減少となった。

木曽クリーンセンターにおける南木曽町のごみ排出量（家庭系・事業系ごみ総量）は538.6tで、昨年度より0.9tの減少となった。木曽クリーンセンターでは可燃ごみ排出量（家庭系・事業系ごみの総量）の目標値を定めており、南木曽町においては令和6年度の実績で67.6tの減量が必要となっている。

木曽クリーンセンターと連携して、ごみの減量と分別意識の向上に努めていきたい。

#### 【可燃ごみ排出量の推移】

（単位 ごみ量：t）

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
町内収集分	480.7	426.9	426.8	411.4	393.7
ごみ排出量（家庭系+事業系）※	584.6	563.0	557.5	539.5	538.6
ごみ排出量対前年度増減	△29.3	△21.6	△5.5	△18.0	△0.9
令和6年度排出目標値	471（家庭系+事業系）				
令和6年度排出目標値達成率	81%	84%	84%	87%	87%

※木曽クリーンセンターにおける家庭系・事業系ごみの総量（町収集分+持ち込み分）

##### ②生ごみ

令和6年度の生ごみ排出量は91.9tで、前年度より8.0tの減少となった。

木曽クリーンセンターと連携して、ごみの減量と分別意識の向上に努めていきたい。

#### 【生ごみ排出量の推移】

（単位：t）

種 類	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
生ごみ	100.0	101.8	103.7	99.9	91.9

##### ③不燃ごみ

令和6年度の不燃ごみ排出量は28.4tで、前年度より7.1tの減少となった。

木曽クリーンセンターと連携して、ごみの減量と分別意識の向上に努めていきたい。

#### 【不燃ごみ（金物類・ガラス類）収集量の推移】

（単位：t）

種 類	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
金 物 類	22.3	22.0	16.9	15.0	11.5
ガラス類	28.0	19.0	21.9	20.5	16.9
合 計	50.3	41.0	38.8	35.5	28.4

##### ④資源ごみ

資源びん、ペットボトル、発泡スチロール、プラスチック製容器包装、蛍光管、ダンボール、雑誌・雑がみ、古着類を行政回収で、紙類、牛乳パック、アルミ缶、ビール瓶をひだまり工房、南木曽小・中学校PTAの集団回収で実施している。令和6年度よりPTA関係は、南木曽中学校PTAが主体となる回収のみとなった。

集団回収の実績に応じて2団体に「南木曽町資源集団回収事業奨励金」を交付した。

○行政回収

【資源ごみ排出量の推移】

(単位：t)

種 類	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度
資 源 び ん	25.2	23.5	22.9	24.1	22.1
ペ ッ ト ボ ト ル	10.4	10.4	11.1	11.0	11.2
発 泡 ス チ ロ ー ル	2.5	2.3	2.2	2.1	1.9
プ ラ ス チ ッ ク 製 容 器 包 装	26.3	29.1	33.5	30.1	29.4
蛍 光 管	0.8	0.7	0.8	0.6	0.6
ダ ン ボ ー ル	82.3	71.2	67.7	63.1	73.2
雑 誌 ・ 雑 が み	26.4	25.9	29.0	25.0	22.4
古 着 ・ 古 布	10.1	9.2	9.0	8.1	6.9
合 計	184.0	172.3	176.2	164.1	167.7

○集団回収

実施団体：ひだまり工房・南木曾中学校PTA

【集団回収量と奨励金交付額】

(単位 回収量：kg・本、交付額：円)

種 類		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		回収量	奨励金 交付額	回収量	奨励金 交付額	回収量	奨励金 交付額
紙 類	新 聞	51,260	153,780	45,810	137,430	40,010	120,030
	雑誌類	56,160	224,640	38,530	154,120	34,010	136,040
	ダンボール	13,780	41,340	12,940	38,820	6,424	19,272
牛乳パック		1,180	3,540	1,140	3,420	1,170	3,510
アルミ缶		4,395	13,185	4,630	13,890	4,040	12,120
ビール瓶(本)		486	96	585	116	248	49
合 計			436,581		347,796		291,021

⑤南木曾町資源ごみストックヤードについて

資源ごみ(資源びん、ペットボトル、発泡スチロール、蛍光管、ダンボール、雑誌・雑がみ、布団)の受け入れを、毎週水・土曜日の午前8時30分から12時まで業務委託により実施している。

令和6年4月からは、小型家電の無料回収も開始した。

⑥南木曾町生ごみ処理機等購入補助金について

一般家庭から排出される生ごみの減量化及び再資源化の推進を図るため、生ごみ処理機等を購入して生ごみの自己処理を実施する町民に対して、令和5年度より補助金の交付を開始した。

・令和6年度実績 生ごみ処理機：1基、生ごみ堆肥化容器：0個

(2) 環境美化関係

南木曾町美しいまちづくり条例の規定に基づく環境美化の日に、南木曾町衛生自治会が中心となり町内一斉清掃を実施した。



①南木曾町衛生自治会

【令和6年度活動状況】

活 動	回数等	場 所	内 容
総会	2 回	南木曾会館	4 月 25 日、3 月 25 日
役員会	4 回	役場	4 月 5 日、8 月 27 日、12 月 19 日、3 月 4 日
町内一斉清掃	2 回	町内	4 月 28 日（可燃ごみ：110kg、不燃ごみ：90kg） 9 月 29 日（可燃ごみ：70kg、不燃ごみ：30kg）
委員研修	1 回	飯田市	10 月 22 日 前田産業株式会社（7 名出席）
町の事業への協力	随時	町内	環境衛生事業への協力、容器包装廃棄物（資源びん、ペットボトル、発泡スチロール等）の分別収集の推進協力等

※一定の役割を終えたものと判断し、令和7年3月25日に開催された総会において解散した。

②ポイ捨て防止監視パトロール事業

「ポイ捨て防止監視パトロール事業」として、4 名へ委託し、国道19号・256号のパーキングを中心とした不法投棄防止啓発活動とごみ拾いを実施した。

依然として不法投棄ごみは多く、最近では汚物の投棄も目立っている。関係機関等への協力を求めながら不法投棄防止の啓発を図る必要がある。

【ポイ捨て監視パトロールごみ回収状況】

回 収 品 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
缶 類	4,093 個	3,283 個	1,441 個
び ん 類	179 本	142 本	132 本
ペットボトル	5,454 本	4,644 本	2,535 本
可燃ごみ ※	120 袋	100 袋	106 袋

※可燃ごみは町指定の可燃ごみ指定袋（50 L）での回収数量

【ポイ捨て監視パトロール出動日数・延人数・延時間】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
出動日数	217 日	226 日	194 日
延 人 数	434 人	455 人	352 人
延 時 間	1,317 時間	1,330 時間	1,060 時間

③不法投棄防止関係

長野県から委嘱を受けた「不法投棄監視連絡員」により、定期的に町内パトロールを実施した。

(3) し尿・火葬関係

①し尿関係

【し尿排出量・処理量等】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
汲 取 り 量	608K L	570K L	568K L
汲 取 り 手 数 料	7,324 千円	6,814 千円	6,952 千円
浄 化 槽 汚 泥 量	3,669K L	3,785K L	3,574K L
浄化槽清掃手数料	41,537 千円	42,639 千円	44,327 千円

②火葬関係（緑聖苑）

【火葬場使用件数等】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
火葬場使用件数	43件	33件	26件
火葬場使用料	688千円	528千円	416千円
霊柩車使用件数	43件	33件	26件
霊柩車使用料	1,230千円	948千円	746千円

(4) 墓地の許可関係（届出数）

①墓 地 経営許可：0件、廃止許可：11件、改葬許可：11件

②納骨堂 経営許可：0件、廃止許可：0件

(5) 霊園分譲関係

①蘭霊園

未分譲区画 1区画（令和6年度 分譲実績0件）

返還 3区画

使用権譲渡 0区画

年度末未分譲区画 4区画

②神戸霊園

未分譲区画 11区画（令和6年度 分譲実績0件）

返還 0区画

使用権譲渡 0区画

年度末未分譲区画 11区画

(6) 飼犬登録関係

【飼犬登録数と狂犬病予防注射実施状況】

年度当初 畜犬登録数	225頭	年度内注射済頭数（前住地接種含む）※1	192頭
死亡等抹消頭数	32頭	未接種頭数 ※2	33頭
新規登録数	13頭	新規登録手数料（@3,000×13頭）	39,000円
転入登録数	12頭	注射済証交付手数料（@550×192頭）	105,600円
年度末 畜犬登録数	218頭	鑑札再交付手数料（@1,600×0頭）	0円
		計	144,600円

※1 注射済頭数内訳 集合春：112頭、集合秋：12頭、訪問：6頭、  
来院：59頭、転入：3頭（年度内前住所地接種済） 計192頭

※2 未接種頭数内訳 老病等：24頭、不詳：9頭 計 33頭

(7) 再生可能エネルギー関係

「南木曾町環境基本条例」及び「南木曾町の自然環境等と再生可能エネルギー設備設置事業との調和に関する条例」の制定により、一定規模（事業区域面積500㎡）以上の再生可能エネルギー施設の設置を計画する事業者は、地元への説明会実施後、町への協議が必要。

・令和6年度実績 法人：0件、個人：0件

(8) 地球温暖化対策関係

地球温暖化の防止には、私たち一人ひとりが職場、家庭を問わず省エネルギー化等に取り組むことが求められている。町民や事業者に対する行政の率先行動として、行政における温室効果ガスの削減を目指すため、「地球温暖化の推進に関する法律」に基づき、令和5年度に「南木曾町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を改訂した。

引き続き温室効果ガス削減目標の達成に向けて取り組んでいきたい。

(9) リニア関係

リニア中央新幹線事業による環境への影響を明らかにするための周辺環境の現況調査を実施した。

①長野県大気環境測定車による大気観測の実施

測定期間	実施地区	測定場所
R 6 . 5 . 27～R 6 . 6 . 27 (30日間)	妻籠地区	妻籠クリーンセンター
R 6 . 6 . 28～R 6 . 7 . 29 (32日間)	蘭地区	バス停「木曾路館前」付近

②水質、水量等の独自調査の実施（町独自調査として水文調査を実施した）

事業名	調査期間	実施箇所	実施回数	事業費	委託先
南木曾町 水文調査業務	R 6 . 4 . 1～ R 7 . 3 . 21	河川 5カ所 井戸 1カ所	12回	871,200円	一般財団法人 中部公衆医学研究所

③水文調査の成果品を基にデータ解析の実施（令和元年度から令和5年度の過去5年間分）

事業名	実施期間	実施箇所	事業費	委託先
南木曾町 水文調査解析業務	R 6 . 6 . 13～ R 7 . 1 . 31	河川 5カ所 井戸 1カ所	2,035,000円	株式会社アンドー

#### 4. 上下水道関係事業

##### (1) 簡易給水施設関係

①簡易給水施設整備助成（事業費の90%）（単位：円）

	水道組合名	補助内容	補助金額
1	川合平水道	配水池次亜ユニット更新工事	970,000
2	胡桃田水道	配水池次亜ユニット更新工事	1,029,000
合		計	1,999,000

##### ②簡易給水施設水質検査

町内15ヶ所の地区水道施設の水質検査を年2回実施し、結果により指導を行った。

※1回分（113,850円）については町が負担を行っている。

検査機関（財）中部公衆医学研究所

\*小規模水道 人口・戸数一覧表（令和7年3月31日現在）

（小規模水道：簡易給水施設、飲料水供給施設の総称）

No.	水道名	種別	地区	住民リスト		水源	
				戸数	人口	名称等	種別
1	与川一区水道	飲料水供給施設	与川一区	20	55	干沢（ひざわ）	表流水
2	南野水道	簡易給水施設	与川三区	5	20	殿沢	表流水
3	小川野平水道	簡易給水施設	与川三区	9	23	カツラ洞	表流水
4	胡桃田水道	飲料水供給施設	上の原・与川三区	15	49	沼洞	表流水
5	坂本平水道	簡易給水施設	与川五区	6	16	久保洞	湧水
6	学校平水道	簡易給水施設	与川五区	4	8	大沢の支流	湧水
7	川合平水道	簡易給水施設	与川四区	10	23	ナシノキ沢	表流水
8	十二兼水道（上）	飲料水供給施設	十二兼	22	60	田ノ沢	湧水
9	十二兼水道（下）	飲料水供給施設	十二兼			熊ノ沢	表流水
10	前の畑水道	簡易給水施設	岩倉	6	22	新山沢	湧水
11	金知屋水道	簡易給水施設	金知屋	4	9	日陰洞	表流水
12	上の原下の平水道	簡易給水施設	上の原	9	23	倉洞	湧水
13	上の原下5戸水道	簡易給水施設	上の原	5	18	白島沢	湧水
14	大妻籠上の平水道	簡易給水施設	大妻籠	5	13	井戸沢	表流水
15	大高取水道	簡易給水施設	上在郷	5	13	大明神沢	表流水
16	三軒家水道	簡易給水施設	上在郷	3	5	水上沢	表流水
17	夏焼水道	簡易給水施設	幸助	4	7	夏焼（大土地）沢の支流	表流水
	合計	18		132	364		

※個人水道（簡水給水区域内を除く） 24戸・42名

##### ③小規模水道現況・人口調査

小規模水道の実態を把握するため、本年も各小規模水道組合を対象とした現況・人口調査を行い水源や施設の状況、運営状況の詳細を調査した（16組合中16組合より回答）。

##### ④令和5年度繰越事業 柿平・向田水道統合事業（令和4年度より5年度へ繰越）

柿平・向田の簡易給水施設を統合し、与川一区飲料水供給施設とした。

事業竣工検査日：令和5年5月10日

飲料水供給施設設置届は同年10月20日に木曽地域振興局で受理された

(2) 下水処理関係

合併処理浄化槽設置補助事業については、令和6年度においては1基設置した。

内訳： 与川地区 1基、

①合併処理浄化槽設置整備補助実績内訳

(単位：千円)

補助金額	左記の財源内訳			備 考
	国庫支出金	県支出金	一般財源	
4 1 4	1 3 8	1 3 8	1 3 8	設置補助金

②人槽別設置補助金額

(単位：円)

人 槽 の 区 分	補 助 金 額
5人槽	3 3 2, 0 0 0
6～7人槽	4 1 4, 0 0 0
8～10人槽	5 4 8, 0 0 0
11～20人槽	9 3 9, 0 0 0
21人槽以上	1, 4 7 2, 0 0 0